

★ 地域主導による

オンライン



地球温暖化対策フォーラム



～ 脱炭素地域の実現に向けた“水素”の活用について考える～

★日 時★ 令和4年2月28日(月) 13:30～15:10

★場 所★ オンライン開催 (要申込み、先着100名)
※ Zoomを利用

フォーラム開催の目的

2021年度は炭素中立型の経済社会に向けた変革の号砲が鳴らされました。

2015年のパリ協定以降、世界的な脱炭素への関心が高まる中、2021年5月に地球温暖化対策推進法が改正されました。

この改正において、温室効果ガスの「抑制」から「削減」へと条文の書きぶりが変更されました。2文字ですがこの変更は非常にインパクトがあり、大きなメッセージが発信されたことは言うまでもありません。

そのような中、日本の第6次エネルギー基本計画（2021年10月22日閣議決定）にて示された2030年度の電源構成の一つに『水素』がアンモニアとともに初めて位置づけられました。

今後、地球温暖化対策を推進していくには、行政をはじめ、市民、事業者、学校等、地域が一体となって取り組むほか、更なる再生可能エネルギーの導入や省エネルギー化が不可欠です。

今回のフォーラムは、脱炭素や水素エネルギーの最新の動向などについて、大学、行政の関係者がリレー形式で繋ぎ開催いたします。

申込方法

次の申込専用フォームまたはQRコードから
団体名・所属・氏名・電話番号・E-mailをご登録ください。

申込URL：<https://logoform.jp/form/ARpd/65048>

※ご登録いただいた情報は本事業でのみ使用し
適切に取り扱います



申込期限
2月24日(木) 17時



<共催> 愛媛大学、松山市

プログラム

時間	内容	
13:30 ~ 13:35	開会挨拶	松山市環境部 副部長 稲田 靖穂
13:35 ~ 13:50	リレートーク① 「地域脱炭素社会と松山市の取組み」	松山市環境モデル都市推進課 副主幹 仙波 匡視
13:50 ~ 14:30	リレートーク②(基調講演Ⅰ) 「カーボンニュートラルに向けた水素の活用動向の概要」	愛媛大学工学部附属 環境・エネルギー工学センター センター長 中原 真也 氏
14:30 ~ 15:00	リレートーク③(基調講演Ⅱ) 「四国におけるカーボンニュートラルポートの動向」	愛媛大学大学院理工学研究科 副工学系長 森脇 亮 氏
15:00 ~ 15:05	お知らせ 水素船「ハイドロびんご」がやってくる	松山SDGs推進協議会 水素ステーション導入に向けた分科会
15:05 ~ 15:10	閉会挨拶	愛媛大学大学院理工学研究科 副工学系長 森脇 亮 氏

◆基調講演Ⅰの講師紹介と関連情報

講師は、愛媛大学工学部が地域貢献を目指し設置した環境・エネルギー工学センターでセンター長を務める。専門は、熱工学で、特に25年以上にわたり水素エネルギーの安全利用と高度有効利用を目指し燃焼工学の観点から研究を行っている。本日は、水素の特徴、そしてカーボンニュートラル社会に向けた水素の活用の位置づけ、さらにその活用の方向性について供給と需要の各視点から概要を紹介する。



中原 真也

◆基調講演Ⅱの講師紹介と関連情報

講師は、再生可能エネルギーの活用に着目した教育研究を長年行っている。教育では大学院生向けに低炭素まちづくりデザインに関する授業を担当しているほか、研究面では太陽光発電を活用した気象予測の開発を行っている。また、社会貢献として、松山市の環境審議会の委員を務めている。本日は、国土交通省が推進するカーボンニュートラルポート（港湾）形成のねらい、最新の動向、四国での取り組みについて紹介する。



森脇 亮

お問合せ先

松山市役所
環境モデル都市推進課

〒790-8571松山市二番町四丁目7-2
電話089-948-6436 FAX089-934-1861
E-mail:ondankataisaku@city.matsuyama.ehime.jp